



松竹温泉 天風の湯



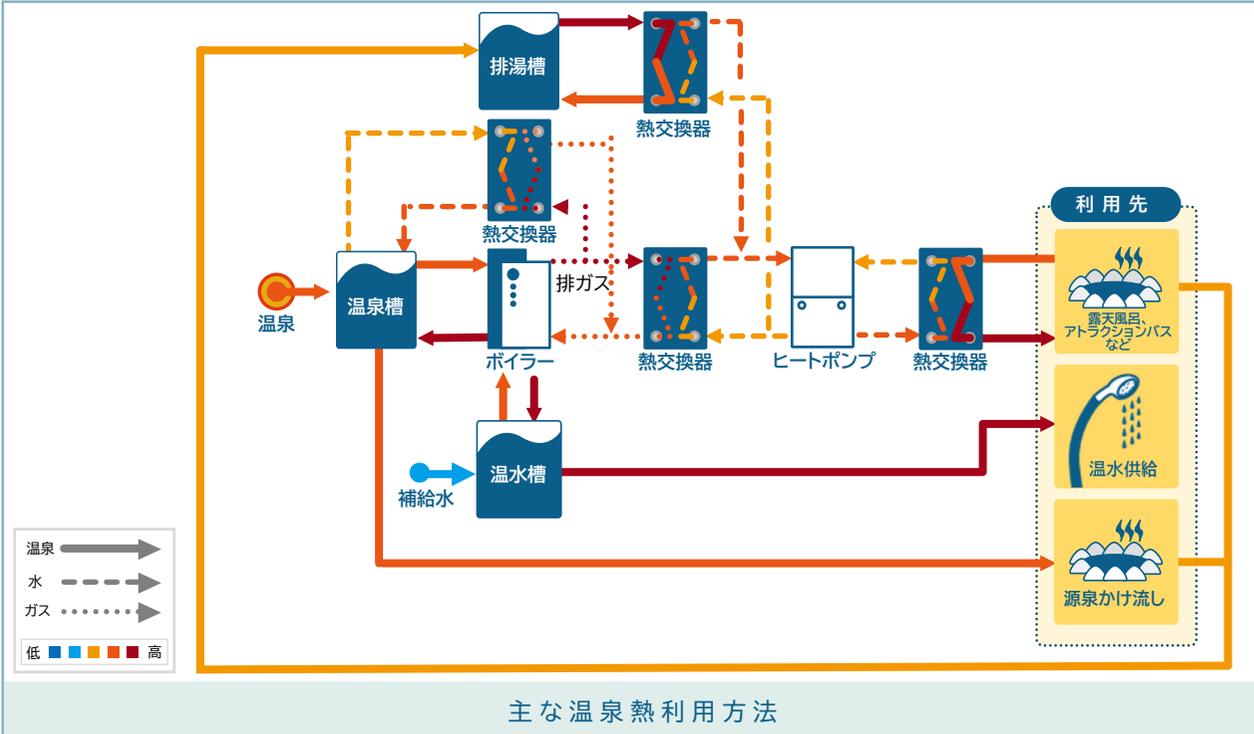
概要

温泉排湯槽から、30℃～35℃の排水が捨てられている一方で、給湯や温泉加温にボイラーを利用していた。また、ボイラーの煙突から、排ガスが捨てられていたことから、これらの排水や排ガスを熱源に活用したいという思いから、温泉熱利用の実施に至った。

温泉排湯槽の排水を熱源に、ヒートポンプで各お風呂(2系統)の循環加温及び給湯加温を実施している。また、ボイラーの煙突から出る排ガスを排ガス専用の熱交換器を介して源泉タンクの加温及びヒートポンプの熱源としても利用している。



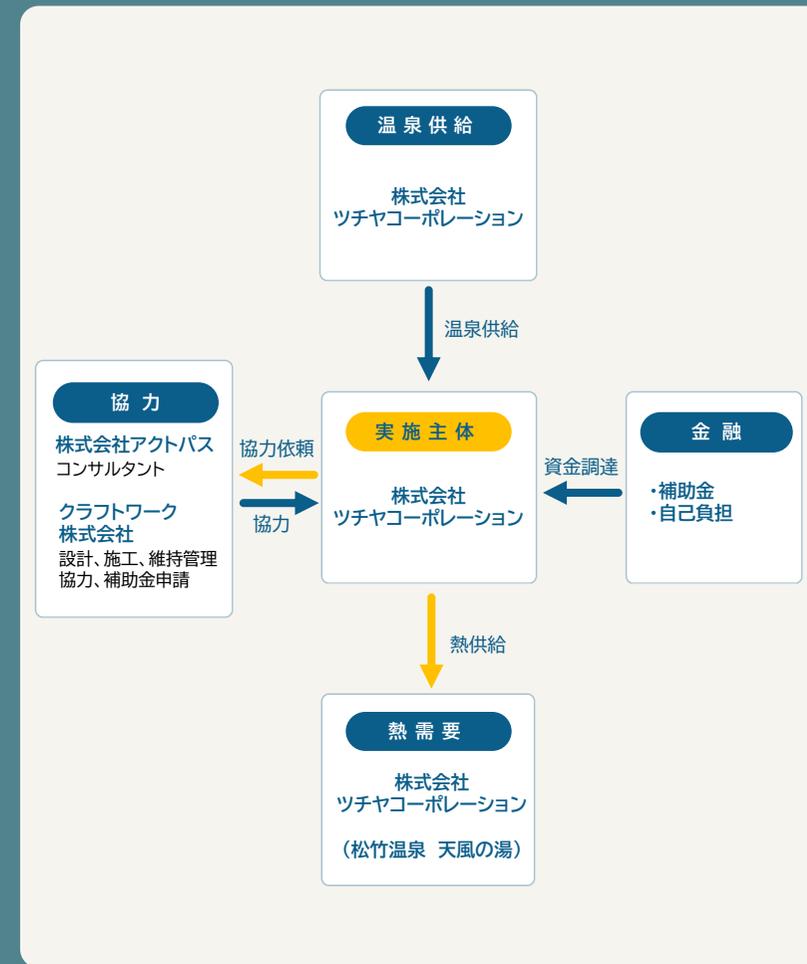
泉質	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉
熱利用温度	30℃
利用温泉	既存温泉
総事業費	7,100万円(一部補助金あり)



主な温泉熱利用方法

※ 本事例は「令和6年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例です。
 ※ 1: CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、ヒアリング先による推定値(LNG使用量削減による効果)です。

実施体制



事業検討の流れ

